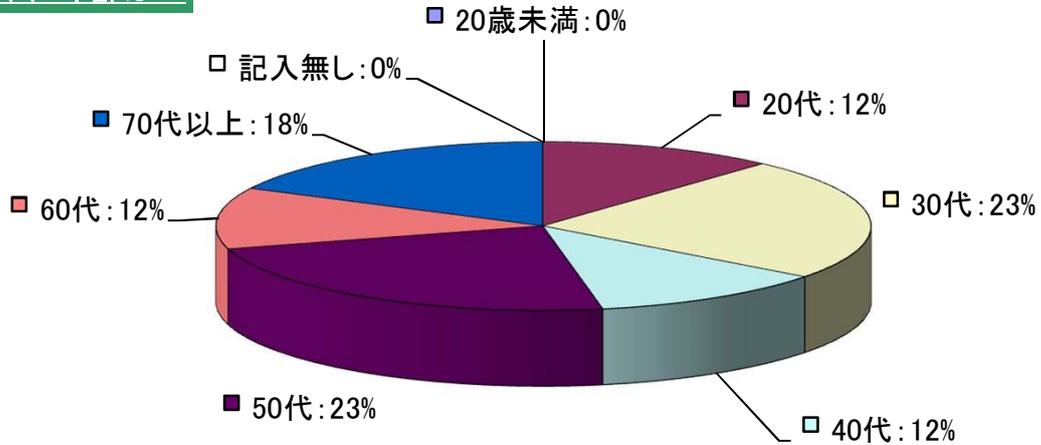


第39回 宮崎海岸市民談義所 アンケート結果

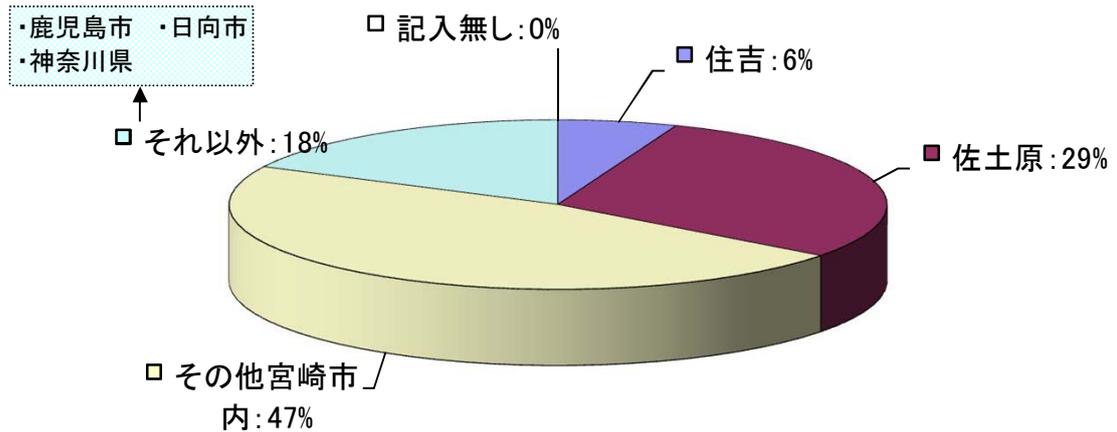
(第39回談義所:2018年2月3日(土)14時00分~16時30分実施、アンケート回収数:17)

1. あなたのことについて教えてください

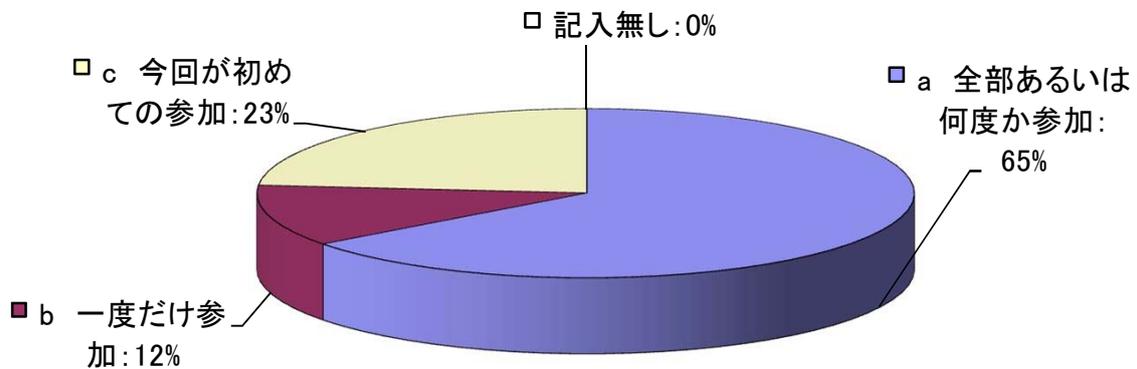
1-(1) 年齢は？



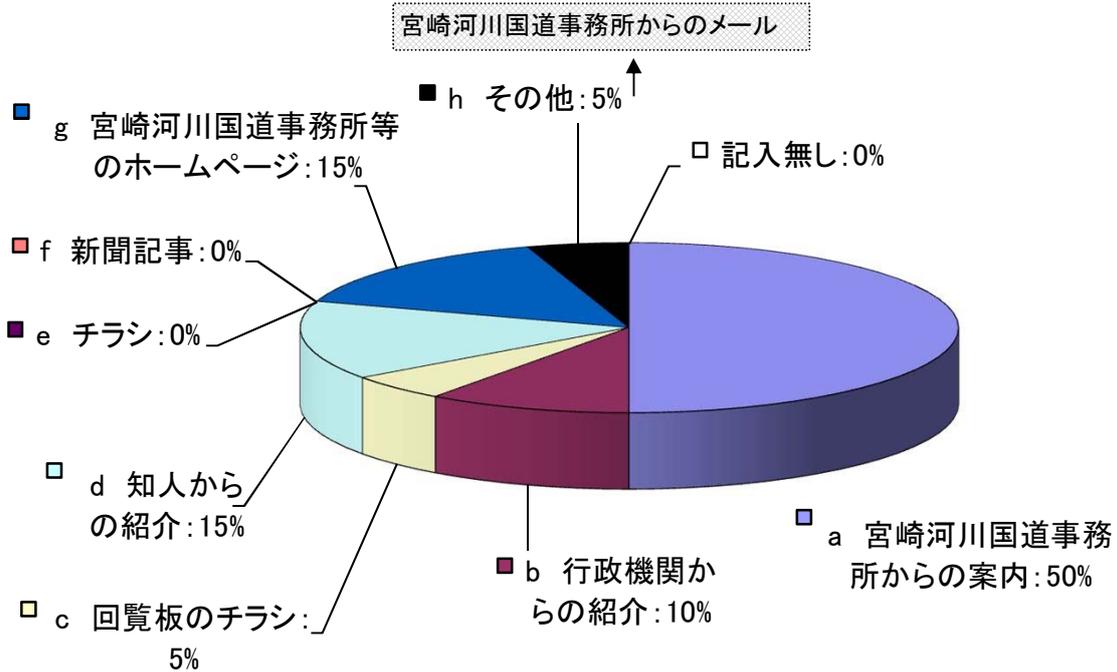
1-(2) 住んでいるところはどこですか？



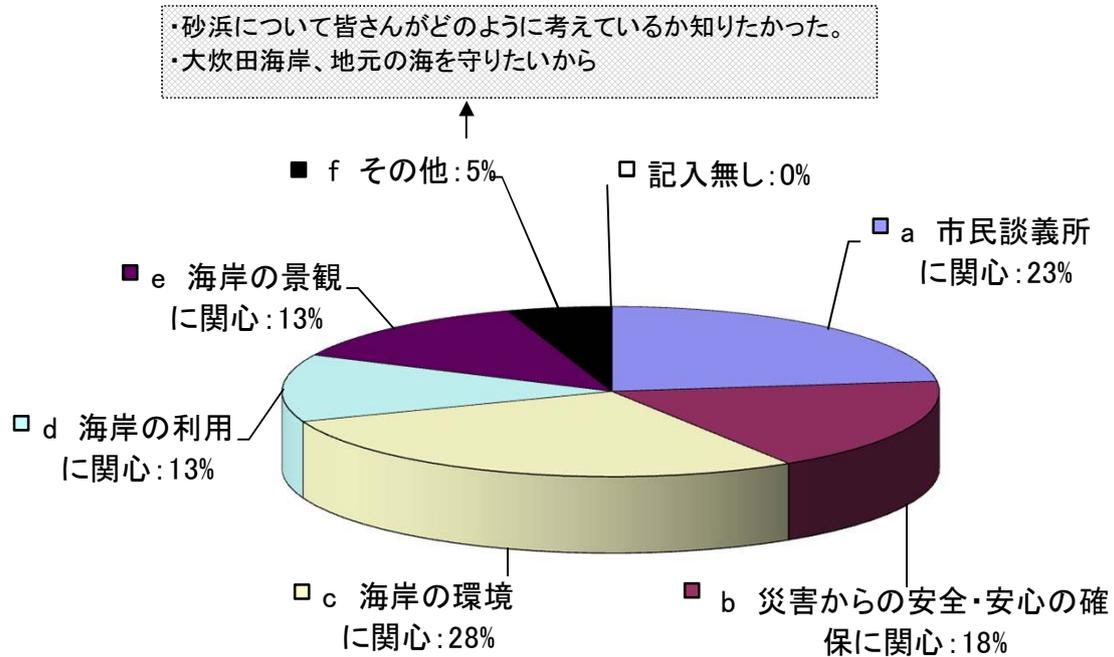
1-(3) これまでに参加したことはありますか？



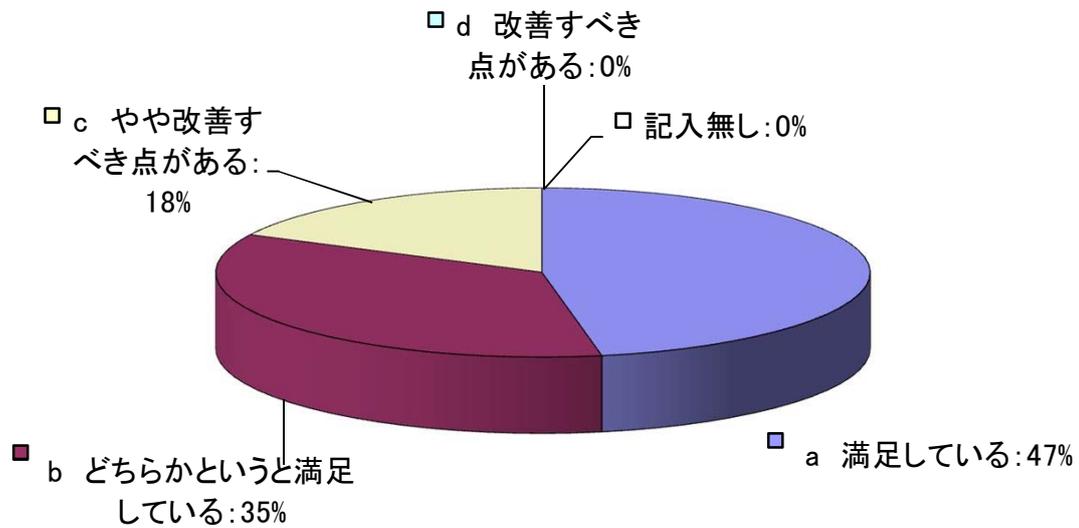
2. 市民談義所を何によって知りましたか？ (複数回答)



3. 今回参加された動機は何ですか？ (複数回答)



4. 今回の市民談義所の満足度は？ (複数回答)



a 満足している(理由)

- ・現地での体験、実感
- ・理解が深まり、当初の考えから改めて変わったところがある。
- ・丁寧な資料と説明

b どちらかという満足している(理由)

- ・談義の時間が短かった

c やや改善すべき点がある(提案)

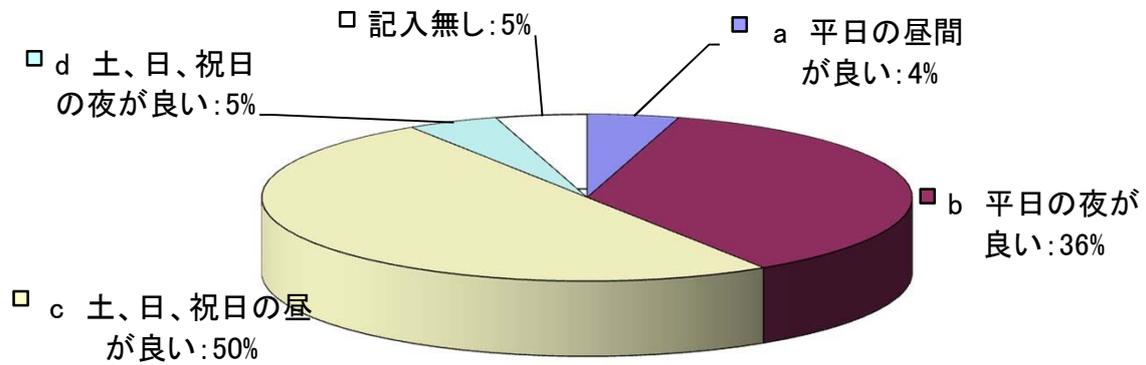
- ・初めての参加の人にも分かりやすく教えてほしいです。

d やや改善すべき点がある(提案)

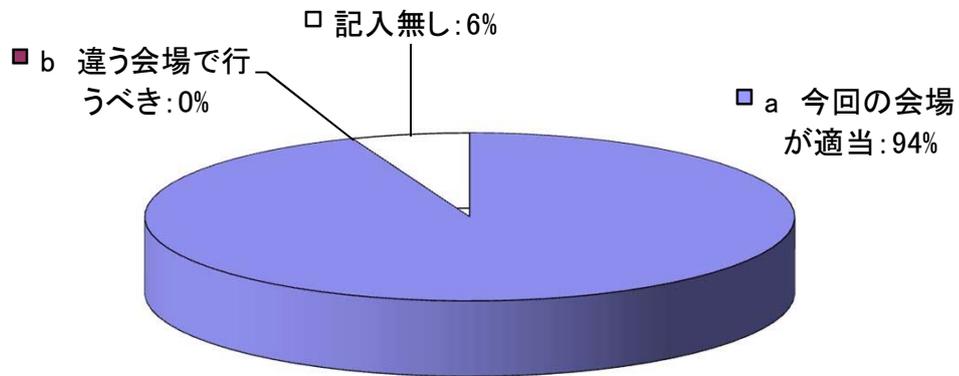
- ・いろんな立場の参加者が必要

5. 市民談義所の運営に関して

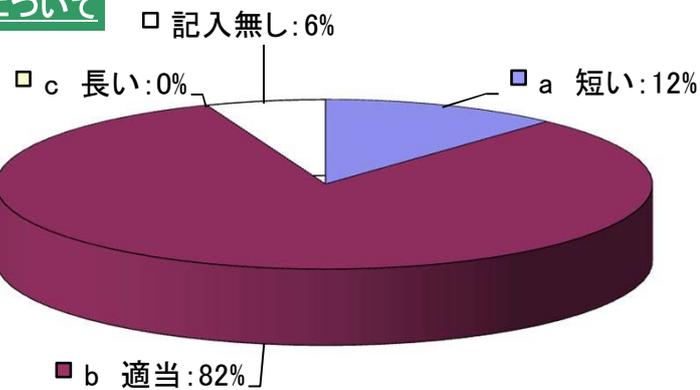
5-(1) 実施する曜日と時間について (複数回答)



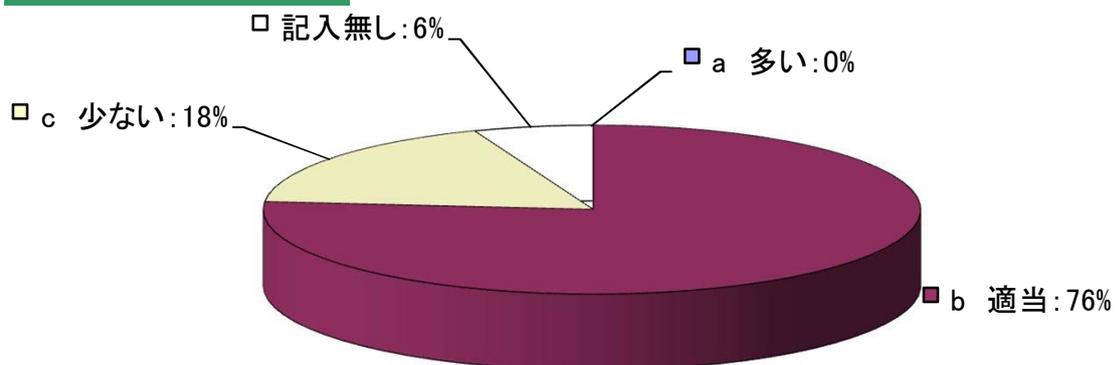
5-(2) 会場について



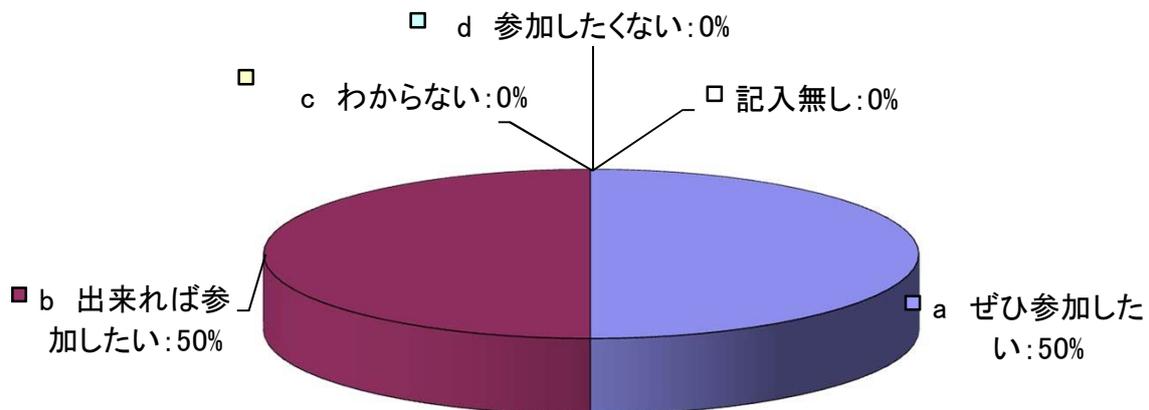
5-(3) 時間の長さについて



5-(4) 参加人数について



6. 次回、市民談義所への参加の意向



7. 次回以降の市民談義所で、談義したいテーマ等

- ・分科会は未だに22万㎡港湾導入を撤回してない(砂)。ならば当事者に29年度迄の現状を公表発表講義してもらいたい港湾当事者の生の声が聞きたい。
- ・突堤が伸びないか？伸ばすためのハードルは？
- ・離岸堤の一部干陸化の計画を立てる
- ・浜幅復元後もしくは事業終了後の評価方法について
- ・望ましい景観についての談義。最終的に安定させたい、目標形(景観)について
- ・漂砂のシステム
- ・現在の宮崎海岸に自然供給するの土砂量(石崎川、一ツ瀬川)を説明し、今後の総合土砂管理計画をテーマに談義する。

8. その他、市民談義所の進め方等についてのご意見

- ・2013年(平成25年)2月16日(土)宮日記事当日2/9(土)突堤の目的は50mでも砂が付く事が前提で進めてきた。しかし現在75mの突堤5年経過しても砂が付いていない突堤は分科会の目的を果たしていない。突堤の必要性を我々皆に納得させる義務がある。
- ・定期的に今日のような現地調査を
- ・地元の佐土原の至る所に案内の文書が欲しいです。友人(市役所勤め)に教えてもらわなければ知りませんでした。しかし市民と行政と一緒に語り合う場があるということは素晴らしいと思いました。是非これからも継続してほしいです。
- ・実施工と効果(モニタリング結果)の進捗をチェックポイントを固定し、毎回グラフ化して頂き確認できると良いと思います。
- ・ダムの堆砂のみでなく、河川を横断する堰の上流の堆砂をどうするかを検討が必要で、地元の意見が大切となる。
- ・大きい縮尺の横断図を示して欲しい。
本突堤と補助突堤①～中間の計画に対して砂の付き具合(地形)、潮の流れ
補助突堤①と補助突堤②中間の計画に対して砂の付き具合(地形)、潮の流れ
補助突堤②200m付近の計画に対して砂の付き具合(地形)、潮の流れ